

JBA「第33回吹奏楽指導者認定試験」問題

(実施日：令和元年12月30日)

第33回「吹奏楽指導者認定試験」の問題は以下のとおりです。

(1) 理論筆記試験

- ・1級：(別掲)
- ・2級：(別掲)
- ・3級：(別掲)

(2) 編曲作品審査

次の課題曲について、参考編成表のとおり編曲し、スコアを提出する。(但し打楽器は自由。)スコアは楽譜作成ソフトを使用してもよい。

- ・1級：滝 廉太郎 作曲 《花》

1小節～20小節目の頭までをト長調で編曲。編曲で参照する楽譜は、「独唱+ピアノ伴奏」のものとする。ただし、調性は「ト長調」で、小節数は「前奏4小節+メロディ16小節(一番まで)」のものとする。

(参考：全音楽譜出版『日本名歌110曲集①』、音楽之友社『日本歌曲名曲集』等)

- ・2級：山田耕筰 作曲 《赤とんぼ》

1小節～12小節目までをヘ長調で編曲。編曲で参照する楽譜は、「独唱+ピアノ伴奏」のものとする。ただし、調性は「ヘ長調」で、小節数は「前奏4小節+メロディ8小節」のものとする。

(参考：全音楽譜出版『日本名歌110曲集②』、音楽之友社『日本歌曲名曲集』等)

- ・編曲作品は、令和2年1月15日(水)必着でJBA事務局宛送付のこと。

(3) 合奏実技試験

- ・1級：(初見曲) スーザ作曲、March「THE THUNDERER」の曲頭～TRIOの前までについて、15分間で合奏指導を実施しなさい。その際、パート譜の間違い3箇所についても指摘・修正しなさい。※モデルバンド：名古屋音楽大学学生モデルバンド

※初見曲の楽譜は、試験場に携行してください。(終了後は返却してください。)

- ・2級：(初見曲) スーザ作曲、March「THE THUNDERER」の曲頭～36小節目第1拍目までについて、10分間で合奏指導を実施しなさい。その際、パート譜の間違い2箇所についても指摘・修正しなさい。※モデルバンド：名古屋音楽大学学生モデルバンド

※初見曲の楽譜は、試験場に携行してください。(終了後は返却してください。)

(4) 指揮実技試験課題

- ・1級：課題曲A. リード作曲「アルメニアン・ダンス・パートI」の練習番号59～186の2小節目第2拍目までを演奏指揮しなさい。※曲を途中で止めてはいけません。※楽譜は各自準備してください。※モデルバンド：名古屋音楽大学学生モデルバンド

- ・2級：課題曲L. V. ウィリアムズ作曲「イギリス民謡組曲」の「第2楽章」：Tempo Iの18小節前のアウフタクト～第2楽章の最後まで、及び「第3楽章」：曲頭～TRIOの3小節前(6/8拍子の前)を演奏指揮しなさい。※曲を途中で止めてはいけません。※楽譜は各自準備してください。※モデルバンド：名古屋音楽大学学生モデルバンド

- ・3級：斎藤秀雄著「指揮法教程」の「練習題No2」を演奏指揮しなさい。

※楽譜は各自準備してください。※ピアノ伴奏を指揮する。

(5) 小論文

- ・1級：指導者の立場から任意の吹奏楽作品をあげ、それらの楽曲の音楽観を4000字(4000字詰原稿用紙換算10枚)程度にまとめて論じる。(テーマは各自で設定)

- ・2級及び3級：テーマは「限られた活動時間の中での充実した練習内容と演奏活動指導について」あなたの意見を述べなさい。2級は原稿用紙1600字、3級は原稿用紙1200字程度にまとめて論じる。

- ・論文は、令和2年1月15日(水)必着でJBA事務局宛送付のこと。

- ・様式は自由。